



2024年 7月 5日
第215号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第25号



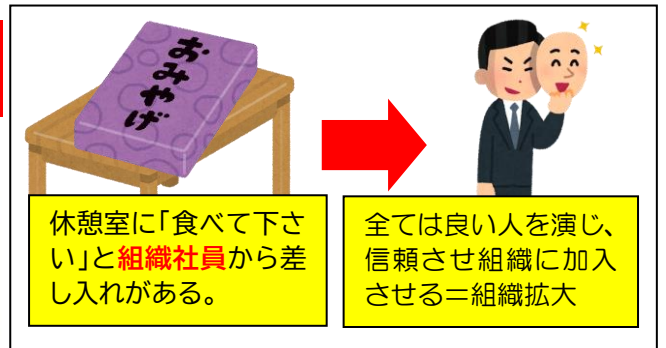
研修を通じたテンポラリースタッフに対する脅迫や買収行為
およびJR東労組に対する誹謗中傷を止め、公平・公正な
過半数代表者選出と世間に恥じない真っ当な研修を行い、
安全第一の職場を求める緊急申し入れ 2期日目（7月5日）

川崎統括センターにおける「安全研修」問題について、横地申第25号団体交渉の2期日目を7月5日13:30から行いました。前回の1項の途中から再開し、研修で使用した20枚のスライドを明らかにするよう求めましたが、1時間程で議論が中断しました。

今後の交渉日が決まり次第お知らせします。

研修で使われたスライドとは？

※横浜地本情報第159号・第206号から抜粋



組 合	会 社
研修で使用されたすべてのスライドを示すこと。	すべてのスライドを示す考えはない。
研修で使用したものがなぜ示せないのか。	研修で使用したもののだが、そのときの考えに基づいて判断している。今回は示さない。
示さないのか、示せないのか。	示す考えがない。
スライドの内容が明らかに不当労働行為である。示すべきだ。	不当労働行為は会社として断定するものではない。組合がそう受け止めるということはこの間の議論で聞いてきた。全く問題ないとは言っていない。適切ではない。
示せないのは、問題があるからではないか。	問題がなくても示せないし、示さない。問題の「ある」「なし」は別。
意図（労働組合に対する嫌悪感や憎悪感）がないのになぜそのようなスライドが作成されるのか。	作成者から聞いたが、「意図はなかった」と言っている。
意図がないと言えば全て逃れられてしまう。「注意指導」とは誰に何を指導したのか。	会社は責任をもって注意指導してきた。意図がなければ良いというものではない。
申し訳ないという気持ちはあるのか。	何もなければ6月に信任投票はなかった。さらに追加の対応が発生した。作業員や有権者に対しては会社として真摯に反省する必要がある。

「スライドは示せない」「注意指導した内容も示せない」では何も見えない！
JR東労組は不正を許さず安全で安心して働ける職場を追求します！